

11月 27日

わだおかつ子

号 外

重点目標「一歩ふみだす子」よりよく考え、主体的に行動する

修学旅行と音楽交流会で感じた6年生の変わらないもの



〈国立科学博物館にて〉

現代社会はVUCA(ブーカ)の時代と表現されます。VUCAとはV (Volatility変動性)、U (Uncertainty不確実性)、C (Complexity複雑性)、A (Ambiguity曖昧性)の頭文字を取った言葉で、VUCAの時代には予想外のことが次々と起こり、今までの常識は通用しなくなります。そして、このような時代には変化を受け入れて適応していく力こそが重要だと言われます。この国も、この国の教育も、私たちもまた、大きな変化を求められています。最近、書店に並ぶ教育書、実用書の中身もそんな内容ばかりで、ここのところ、どう変わるかばかりに囚われていた自分がいました。

そんな時、6年生の皆さんが桜か丘学園の音楽交流会に選んだ歌は「変わらないもの」。それは私に変わらないものの素晴らしさを見つめ直す機会をくれました。修学旅行の中でも皆さんは、変わらないものの大切さをいくつも教えてくれました。誰に対しても気持ちの良いあいさつをすること。「ありがとう」と、心を込めて感謝を伝えること。時間と約束を守ること。そして、なにより友達を思いやって行動すること。アクアパークでは、はぐれてしまった班員を気遣い「もう一周回って探してくる」って言って駆け出した子たちがいたね。班で意見が分かれたときも少数派の意見をないがしろにせず、お互いの顔を突き合わせ、とことん話し合って決めてくれていたね。

そして、修学旅行明けの音楽交流会。旅行の疲れか体調を崩して休んだ子がいて不安だったのに、その子たちの分もがんばるって気持ちを切り替えて臨んだね。そんなみんなの歌が、そして歌詞に込められた「変わらないもの」が、心にしみた。「♪君がいたから頑張れた 支え合うこと分かち合うこと あふれるほどの愛をくれた あなたにありがとう 君と出会った幸せをかみしめながら 歩いていこう 一年先も十年先も 変わらない想い」6年生のみんな、お疲れさま。ありがとう。 校長 梅葉 紳介



〈浅草中見世通り散策〉



〈江戸風鈴絵付け体験〉



〈国会議事堂参議院体験プログラム〉



〈品川アクアマリンパーク〉



〈11月24日 令和5年度 桜が丘学園音楽交流会〉